

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成21年12月3日(2009.12.3)

【公開番号】特開2008-256331(P2008-256331A)

【公開日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【年通号数】公開・登録公報2008-042

【出願番号】特願2007-101883(P2007-101883)

【国際特許分類】

F 24 C 7/02 (2006.01)

【F I】

F 24 C 7/02 5 1 1 M

F 24 C 7/02 5 1 1 E

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月21日(2009.10.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

前面を開閉する加熱室内に設けられた載置部に被加熱物を載置して加熱調理を行う加熱調理器において、前記載置部は前記加熱室の中央領域を示す略円形の第1マーキングと、第1マーキングの外側を囲むとともに中心角が180°以上の略円弧状の円弧状部を第1マーキングの前方に形成する第2マーキングとを表面に有し、第1マーキングの中心に対して前記円弧状部の中心を後方に配置したことを特徴とする加熱調理器。

【請求項2】

前面を開閉する加熱室内に設けられた載置部に被加熱物を載置して加熱調理を行う加熱調理器において、前記載置部は前記加熱室の中央領域を示す第1マーキングと第1マーキングの外側を囲む第2マーキングとを表面に有し、第2マーキングまたは第2マーキングの包絡線によって前記中央領域の少なくとも前方及び左右に広い広領域を視認可能にし、前記加熱室の中心から右側及び左側の前記広領域の幅が前方の前記広領域の幅よりも大きいことを特徴とする加熱調理器。

【請求項3】

第2マーキングは前記載置部に描かれた図柄の境界から成ることを特徴とする請求項1または請求項2に記載の加熱調理器。